

令和7年度第2回東郷町地域公共交通会議 議事録

日時 令和7年10月29日（水）

午前9時30分から午前11時10分

場所 東郷町民会館2階 大会議室

出席者（敬称略・順不同）

	役職	所属等
1	会長	名城大学理学部 社会基盤デザイン工学科 教授
2	副会長	東郷町福祉こども部長
3	委員	諸輪地区代表
4	委員	祐福寺地区代表
5	委員	白土地区代表
6	委員	御岳地区代表
7	委員	瀬戸自動車運送株式会社 取締役
8	委員	名古屋タクシー協会 専務理事
9	委員	東郷町まち整備部長
10	委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事（代理出席）
11	委員	中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官
12	委員	名鉄バス株式会社 交通企画官
13	委員	愛知県バス協会 専務理事
14	委員	愛知県都市・交通局 交通対策課 担当課長（代理出席）
15	委員	愛知県愛知警察署 交通課長（代理出席）
16	委員	みよし市経営企画部 企画政策課主幹
17	委員	豊明市行政経営部 企画政策課長
18	委員	日進市都市産業部 都市計画課 移動政策室長

欠席者 2名（和合ヶ丘地区代表、愛知県尾張建設事務所）

傍聴者 5名

1 会長あいさつ

- ・ 次期計画策定、路線見直しに向けて、町長も住民懇談会に参加するなど、町が積極的に町民の意見を聴取しながら進める姿勢に期待をしている。
- ・ 次期計画策定、路線見直しにあたっては、個別の具体的な意見を尊重しつつも、最終的には「町全体としてどうあるべきか」という大局的な視点での判断が不可欠である。
- ・ 今回報告されるアンケート調査の結果は、町民全体の考え方を客観的に示すものであり、この全体像を正確に把握し、念頭に置きながら、個別の課題への対応策を検討いただきたい。

2 議題

(1) 令和7年度東郷町地域公共交通会議予算の補正（案）について（資料1）

【事務局資料説明】

【諸輪地区代表】

- ・ 不採択の理由は何か。

【事務局】

- ・ 次期地域公共交通計画策定に関する調査事業に対する補助金「地域公共交通調査事業費補助金」を申請していたが、アップデートに資する取り組みを行うものを重点的に採択したため本町は不採択となったと聞いている。

【愛知運輸支局】

- ・ 国の補助金配分方針が、データ活用による既存計画のアップデートを重視する方向にシフトしたこと、また全国的に要望件数が多かったことから、東郷町の申請は採択に至らなかった。

【事務局】

- ・ 補助金は減額となったが、元々計画していたものは全てやりきる形で進めている。

※議題(1)について、委員の承認を得た。

3 報告

(1) 次期公共交通計画策定等に係るニーズ調査結果（速報）について

（資料2-1～2-6）

【事務局資料説明】

【名古屋タクシー協会】

- ・ 公共交通を利用していない方としている方で各交通機関の満足度などは違う場合もあるかと思うが、集計として出せるのか。年代別等の分析をする予定はあるか。
- ・ 駅に待機タクシーがないという意見があるが、その後、どうしたかは把握しているか。

【事務局】

- ・ 利用の有無や年代別の集計はデータを持っている。今回は速報版で、今、詳細版のまとめ作業を行っている。
- ・ 待機タクシーなどのその後は把握できていない。今後、住民懇談会等で確認して把握ていきたい。

【名古屋タクシー協会】

- ・ デマンドタクシーの予約が取れない場合は諦めるという意見があるが、その後、どう行動したのか追跡調査をした方が良いのではないか。住民懇談会等で、そういった声も拾っていけば施策に活かせるのではないか。
- ・ デマンドタクシーと組み合わせる交通機関のその他の内訳を知りたい。

【事務局】

- ・ その他の交通機関の内訳の一部として、日進市のくるりんバスや一般タクシーと等の結果が見えてきているが、詳細は把握できていない。

【名古屋タクシー協会】

- ・ 他の交通機関を乗り継いで、最終目的地に到着できたかは非常に重要だと思う。

【白土地区代表】

- ・ アンケートを取り集計して結果を報告するだけで終わらず、地区によって高齢化が進む、若者が増えるなど今後の状況が異なるので、地区ごとの状況を加味して、公共交通が多くの方に満足してもらえるような計画を立てていただきたい。
- ・ 白土地区は特に赤池駅を利用して名古屋方面への移動が多いようだが、運行本数や時間の問題から、最初から公共交通での移動を諦めて車で移動をしていると思う。また、白土地区から役場方面へのバスに関して、ららぽーと愛知東郷で降りて行く必要がある。年齢層や時間的な問題も含めた公共交通を考えてももらいたい。

【事務局】

- ・ 今回は結果がまとまったばかりだが、他のアンケートや住民懇談会の結果等々を加味しながら、人口の動向や上位計画の流れも組み込み、町民の皆に良い公共交通となるよう次期計画に反映していただきたい。

【会長】

- ・ 年代別や利用/非利用の集計も必要だが、回答数が少なすぎると統計的に意味のないものになる可能性がある。意味のある範囲で集計していただきたい。

【諸輪地区代表】

- ・ 住民懇談会の参加人数が非常にアンバランスだが、事務局としてどう判断されるのか。公共交通に不満が多い地区の参加者が多いように思うが、どう思うか。

【事務局】

- ・ 周知には色々手段を尽くしたが、公共交通、特にじゅんかい君に対して意見がある方が多い地区の参加人数が多くなったのは事実だと考えている。

【諸輪地区代表】

- ・ 東郷・藤田医大バスの結果があるが、このバスを続けるか否かや、地域の高齢者が行く病院は藤田医大だけで良いのかということも含めて、検討が必要ではないかと思う。

【愛知運輸支局】

- ・ デマンドタクシーを利用しなくなった理由として「使いたい時間に使えない」や「行きたい場所に行けない」という意見が多いとあるが、具体的な時間や場所は把握しているのか。

【事務局】

- ・ 個別には把握していないが、住民懇談会での意見としては町外の駅に行きたいという意見が多い。時間については利用時間と予約不成立の両方が含まれていると考えている。住民懇談会では、午前中は予約が取りづらいとの意見が出ている。

【愛知運輸支局】

- ・ 中学校の部活動が地域クラブに移行する流れがあるが、その移動が親の負担になる等が出てくると思うが、教育部局と連携して考えるなどの予定があれば知りたい。

【事務局】

- ・ 現状では具体的な話はしていないが、教育部局も含めて考えていきたい。

【会長】

- ・ 今回の結果を参考に、また住民懇談会の意見を踏まえ、今後の方向性を探っていく。全体として町民の方々がどう感じているか感じ取っていただけた気がする。
- ・ 東郷町に限らず、公共交通に対する評価は決して高くないという状況である。利用しない人たちは自分たちの行動を肯定化する意味でも「不満だ」ということを表明しやすいので、利用者/非利用者を分けて見るのは大事である。ただし、利用者のサンプルが少ないことに留意する必要がある。
- ・ 運賃・料金負担に関して、全体としてはある程度許容しようという方向性も見えてきたと思う。負担が増えてもサービスを向上させれば良いかと言えば、それも一貫してない気もするので、さらに詳細分析し、年齢層や地区などでどういう考え方なのかをあぶり出していくと良い。

- ・ タクシーが全然足りないという状況はよくわかった。これも東郷町に限ったことではなく社会問題になっており、事業者だけではなく皆で一緒に取り組んでいかないといけない状況がよくわかったと思う。
- ・ 何か追加で、お気づきのことがあれば事務局までお寄せいただきたい。

(2) 令和7年度上期における公共交通の利用状況について（資料3－1～3－3）

【事務局資料説明】

【会長】

- ・ 状況としては順調に伸びてきている。他の自治体でも地域内の移動は増えてきている印象だが、一方で地域をまたぐ、通勤を中心とした路線バスや鉄道の利用は伸び悩んできている感じで、まさに高齢化を表している気がする。
- ・ デマンドタクシーに関しては、利用者が、予約の取りやすさの傾向が分かってきて昼の利用にシフトしてきており、空きタクシーを有効活用しており悪い事ではない。

【瀬戸自動車運送】

- ・ デマンドタクシーのアンケート結果で予約不成立が 10%を超えてしまってことについて、当日予約される方に対しては時間を 30 分～1 時間調整することで対応していただけることがあるが、1 週間前に電話予約される方が増えてきており、そのような方に対しては時間調整が難しく、タクシーの有効利用が制限されている。
- ・ 税金を増やしても充実させて欲しいという意見は非常にありがたい話ではあるが、運転手不足の問題もあり、町や町民の意見を聞きながら、上手にタクシーを活用してもらえるよう努力していく。

【会長】

- ・ 税金を使っているので、皆さんのが公平に使えるような仕組みを考えなければならない。

【名鉄バス】

- ・ バス乗客数は全体的にはコロナ前と比べると 9 割くらいがトレンド。愛教大線や豊田地区に関しては特異的なトレンドとして通学利用が増えている。

【会長】

- ・ じゅんかい君の年間利用者数 20 万人という数字は誇ってください。数年前、長久手市のN-バスが 20 万人を突破しているが、長久手のほうが人口規模が大きい。5 万人弱の人口で 20 万人というのは皆の努力の賜物だと思う。

(3) 事業計画の実施状況及び今後の予定について（資料4）

【事務局資料説明】

【会長】

- ・ はたらく乗りものフェスタ、尾三地区のバスフェスティバルなどイベントがありますの

で、皆さまもぜひご参加いただけたらと思います。

- ・ 各種イベントで関係者の方々、ご協力いただきありがとうございます。

(4) その他

【愛知県都市・交通局】

- ・ 「エコモビ実践キャンペーン 2025」について説明。

【諸輪地区代表】

- ・ 諸輪の公共交通懇談会や敬老会で自主的にじゅんかい君のアンケートを取ったので報告したい。
- ・ 約 70 名の回答を得た。
- ・ 運転免許証返納を考えているのは約 2 割。
- ・ 通院、買い物での移動手段は、じゅんかい君利用が約 2 割、デマンドタクシーが約 1 割。
- ・ じゅんかい君を利用できない、しない理由として、以前より減便されたためとの回答が約 5 割。
- ・ じゅんかい君の運行について、「税金で運行しているのに他のコースと格差がある」、「通院、買い物には確保してほしい」という要望が半数の方からあった。
- ・ じゅんかい君は重要なインフラで、地域交通は採算よりも生活保障としての機能を重視すべきではないか。このバスは、町民の暮らしを支える、欠くことのできない装置であり、弱者を守り、地域を発展させ支える原動力です、というまとめ方ができると思っている。
- ・ 懇談会の中で小学校の運営協議会の方が利便性の向上として、小学校が 5 時間授業後のバスはあるが、6 時間授業後はバスがない。保護者の迎えが必要という意見があり、その辺の利便性も向上していただきたい。

【会長】

- ・ 地域で、問題や要望をまとめていただくことはありがたい。引き続き、そういう協力をお願いしたい。
- ・ 事務局から何かあるか。

【事務局】

- ・ 次回、第 3 回地域公共交通会議を 12 月 22 日（月）の午前 9 時 30 分から開催しますので、出席のほどよろしくお願ひします。

以上